

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

泉尾東小

学校

児童数

39

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.00	17.24	32.53	35.88	25.56	9.56	145.00	15.81	47.67
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.25	18.00	36.27	32.63	26.87	9.94	139.69	10.13	49.83
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果、体力平均値は男女とも握力が全国・大阪市ともに上回り、女子は立ち幅跳びが大阪市平均を上回る結果となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について肯定的な回答をした児童の割合は、男子88.9%、女子94.5%で、女子は大幅に大阪市平均を上回り、男子は下回る結果となった。

1週間の総運動時間については、0分の児童の割合は全国・大阪市平均より下回っているが、1～60分未満の児童の割合は男子15.8%、女子29.4%と、ともに全国・大阪市平均を大幅に上回る結果となった。学校でも、日常的に体を動かす機会をつくっていくことが課題と考える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学校では子どもたちの体力向上に向け、まず体を動かす習慣をつけることを目標に、今年度も体育の時間には「持久走週間」を取り入れた。学年ごとに時間を決め、一定時間内に運動場を何周走ることができるかをカウントしていった。2人ペアでカウントする側と走行側に分かれ、カウントする側は大きな声で「がんばれ!」「あと1/4で5周や!」といった声をかけながら、楽しんで取り組んでいる。併せてけが防止を目的とし、体育の授業の中に必ず柔軟性を高める運動を取り入れた。

体育の学習に対し「体育の授業は楽しいですか」の質問に、男子94.4%、女子は83.4%が肯定的に回答している。今後は授業のめあてをより意識し、友だちと助け合ったり教えあったりして学習を進めることができるよう、ラジオ体操を丁寧に行うことも含めた指導法の工夫にいっそう取り組みたい。